

2021年7月16日

朝日カルチャー 野外の自然観察

福岡市東区アイランドシティ中央公園「照葉の森とオオゴマダラ」

前日の雷雨のせい或少しだけ暑さが和らいだ中、2005年に整備された東区のアイランドシティ中央公園を歩きました。



今回の参加者は講師を含めて17名です。集合場所の大きなエノキの下ではゴマダラチョウの歓迎があり、その姿を皆さんカメラに収めていました。

スタートは雨水を利用した修景池の周回コースです。ハンゲショウ、ミソ



ミソハギ、ヒメガマを背景に

ハギ、ヒメガマ、シュロガヤツリ、シラサギカヤツリを触ったり、匂ったり五感を使い観察します。オオバナミズキンバイや(ホソ)ナガバミズアオイなど、在来種に影響のある植物も多くありました。また、水生植物の上をヒラヒラと舞うチョウトンボやクロイトトンボにカメラを向ける方や、小さなヤマイの姿に「可愛い!」を連発する方もいらっしゃいました。

修景池周辺の樹木ではシマトネリコ、アカギ、ジャガランダなどを観察しました。



強くなった陽射しをさけて遊歩道に入ると周囲は一変し、メグスリノキなどのカエデ類が観られました。日本庭園にはヒメシャラや実の成ったナツハゼがありました。ここでは庭木の剪定や挿し木の方法、病気の予防などの話があり、皆さん熱心に耳を傾け、質問も多くありました。ヒメシャラ、ナツツバキ、サルスベリの樹皮の違いも確認しました。

次に花木園に入ると、白から赤のグラデーションに彩られた、ひときわ大きなコブシの実に歓声があがります。「妖精の木」の掲示板のあるナンキンハゼに「なんで?」と皆さんツッコミを入れ笑いがおこります。

修景池の周回コースに戻ったところでランチタイム、大きなコナラの下で輪になってお弁当をひろげます。池から涼しい風が吹く日陰で暑さをしのぐことができ、いい休憩になりました。

昼食後はムクゲやフヨウの鮮やかな花色を愛でながら歩き、水際のミズカンナ、ジュズダマを観察し学習体験施設「ぐりんぐりん」に向かいます。

今回のタイトルにもあるオオゴマダラは、最後の一匹が前の週に昇天され、残念ながら観ることができませんでしたが、他にも沖縄・八重山諸島の蝶たちが乱舞していました。人懐こいコノハチョウが会員さんの帽子に長い時間止まり、皆さん大喜びでスマホを向けていました。



亜熱帯の植生を再現したスペースでは観葉植物の同定に苦労しましたが、よく知る会員さんがいらして助かりました。ありがとうございます。

都会の整備された公園ですが多くの生物との出会いがあり、今回も会員の皆さんと楽しい時間を共有することができました。

スタッフ 手寫 常藤 (記)